

	所 属	現代社会学部 現代社会学科
	専 攻	ビジネス文化専攻
	主な担当科目	地域文化特講Ⅰ・Ⅱ、歴史
	氏 名	伊藤 陽寿
	フリガナ	イトウ ヨウジュ
	職 位	専任講師
	学 位 等	修士(文学)

研究内容・社会業績等

【研究内容】

- ・琉球近世史
 - (1) 琉球と中国との関係および外交史
 - (2) 琉球と欧米諸国、主にフランスとの関係
 - (3) 琉球の「近世」についての政治史からの考察
 - (4) 中国や日本における「琉球」への対応 など
- ・教育コンテンツとしてのウィキペディア
 - (1) 琉球沖縄史のウィキペディア記事の充実や教育コンテンツとしての利用の仕方などをウィキペディア執筆者たちと協議模索
- ・歴史ファンコミュニティにおける歴史実践
 - (1) 歴史学の専門家という立場で歴史ファンのコミュニティに関わることについての実践的研究

【社会業績】

- ・2017年6月3日開催
久米崇聖会 公開講座「琉球の19世紀外交と久米村士」 於 沖縄県那覇市久米
- ・2021年1月23日オンライン開催
Wikipedia 20 JAPAN／大学の人がウィキペディアを編集してみたらどうなるの
- ・2021年9月23日開催
徳川家を楽しむ会「琉球の藩意識」パネルトーク など

論文・書籍・資格等

【著書】

『「危機の時代」の沖縄-十七世紀の琉球、現代を写す「鑑(かがみ)」-』新典社、2009年

【論文(単著)】

- ・「清代冊封使の派遣実施の議論と冊封使の請願-清代第二回目の冊封琉球使について-」『大正大学大学院研究論集』第32号、2008年
- ・「久米村孔子廟創建の歴史的意義-十七世紀後半の政治史的視点から-」法政大学沖縄文化研究所、『沖縄文化研究』第36号、2010年
- ・「尚泰請封問題と琉仏約条— 一八五六年における請封議論・逗留フランス人問題・特使派遣の関連性を中心に」『沖縄文化研究』第43号、2016年
- ・「琉清関係を担う久米村士-呉江梁氏十四世、梁文翼の「寵栄」から考える「一貢免除問題」」『チーシンプー』第8号(久米崇聖会)、2019年
- ・「寛文期前半の琉球・薩摩間における借銀交渉-「唐商売方式」の成立過程-」法政大学沖縄文化研究所、『沖縄文化研究』第50号、2023年
- ・「歴史ファンと歴史学の専門家との「協働」-歴史イベントに「参加する」という歴史実践-」『至誠館大学研究紀要』第10巻、2023年

【論文(共著)】

- ・鎌田出、伊藤陽寿「1840年代—50年代における琉球帰属問題—琉球・薩摩・幕府の西洋への対応からみる—」『至誠館大学研究紀要』第3巻、2016年
- ・鎌田出、伊藤陽寿「孔子廟からみる『近世』琉球」『至誠館大学研究紀要』第4巻、2017年

【研究ノート】

- ・「中華の『屏藩』、皇国の『藩屏』—琉球国の『藩』自称—」『至誠館大学研究紀要』第5巻、2018年 など

学生へのメッセージ

大学の勉強では、物事を暗記したりどこかの誰かが言っているようなありきたりなことを書いても高得点は望めません。いま目の前にあるものをフル活用して、そこから自分は何を考え、どのような答えを導き出したのか。それを文章化して目の前の人(先生など)に差出した時、その人を納得(説得)させられるかどうか。それが大学でやる勉強です。

大学とは難しいことを勉強するところです。それを決して忘れないでください。